

# 前原外相が辞意

## 在日外国人献金問題巡り

前原誠司外相は6日、在日外国人から政治献金を受け取った問題の責任を取り、辞任する意向を固めた。同日午後6時半すぎに首相公邸で菅直人首相に会い、辞意を伝えたとみられる。

政治資金規正法は外国人からの寄付を禁じているが、前原氏の政治団体は在日韓国人の女性から2005年以降、4年間で毎年5万円ずつ計20万円の献金を受けていた。

前原氏は「ポスト菅」の最有力候補。今回、外相を辞任することで政治的なけじめをつける考えとみられる。

首相は6日昼、前原氏の献金受領問題について、記者団に「本人が全容についてよく調べ、ちゃんと説明したいと言われているので、そうされることがいい」と語った。そのうえで、2011年度予算案など国会審議に与える影響については「ちゃんと説明することによって納得いただけることを私としては期待している」と述べていた。

前原氏はこれまでの記者会見で「(京都の自宅の)近くで焼き肉屋の経営をする在日の方だ。(献金は)返金し、収支報告書を訂正したい」と説明。「献金をいただいているという認識はなかった」としていた。



東京に戻った前原誠司外相。6日午前8時40分、羽田空港、福岡重純撮影